

令和8年産米の県生産数量目標（目安）の設定について

経緯等

- 農業者等の主体的な判断により需要に応じた生産・販売を進めるため、国は平成30年以降、米の生産数量目標の配分を廃止し、**目標（目安）の設定は各都道府県の判断**によるものとした
- 本県では、引き続き、需給バランスのとれた生産を行っていくため、**県の目標を設定し、市町村ごとの生産面積の目安を提示**している（本県を含む43道府県が目標（目安）を設定）

これまでの県生産数量目標

H30～R6 国が示した全国の需要見通しを基に、本県の人口減少率等を加味して算定

算定の考え方

$$\text{高知県における生産数量目標} = \text{全国の需要見通し} \times \text{高知県の需要実績の全国シェア} \times \text{高知県の人口減少を考慮した補正率}$$

R7 全国的な米の不足感や価格の高止まりといった状況等を踏まえ、**R6年産実績と同水準の10,100ha**に設定

県内の主食用米の作付状況



全国の主食用米の需給見通し

令和7年10月31日時点

年産	項目	数量(万 t)
6	民間在庫量 (R7.6月末)	A 155
7	生産量	B 748
	政府備蓄米供給量	C 23
	需要量	D 697~711
	民間在庫量 (R8.6月末)	E = A + B + C - D 215~229
8	生産量	F 711
	需要量	G 694~711
	民間在庫量 (R9.6月末)	H = E + F - G 215~245

適正在在庫量とされる180~200万トンを大きく上回る水準

需要見通し: 人口減少や直近の1人当たり精米ベースの消費量の実績やインバウンド需要の動向、精米歩留りを考慮して幅で設定
生産見通し: 需要に応じた生産を図るため、需要見通しに対し余裕を持って設定

本県の令和8年産需要量見通し

国: 694万~711万トン
 ▼
 県: 46,507~47,646トン = **10,266ha~10,518ha**

H30~R6における算定の考え方を基に算定 ※面積換算 (直近R7年産の平均収量: 453kg/10a)

令和8年産米の県生産数量目標（案）

本県の水田面積を維持しながら
 需要に応じた生産を進めていくため
令和8年産米の生産数量目標を

10,500ha (47,565トン) とする

